

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグ・スマイル前橋東教室		
○保護者評価実施期間	2024年8月1日		2024年8月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年8月1日		2024年8月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年8月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人に合わせた目標設定と支援プログラムの提供	学校やご家庭でのお子様様子の聞き取りを行い、教室での活動内容、支援内容の報告を送迎時に行っています。また、必要に応じて関係機関とも情報共有を行いながら丁寧なモニタリングとアセスメント面談の実施を心がけています。	社会スキル、生活スキルの向上のための新しい取り組みを企画し、プログラム化していきます。
2	関係機関との連携ができています	他機関が主催する担当者会議等にも積極的に参加しています。また、必要に応じて学校での様子を見学や担任の先生との意見交換を実施しています。	事業所外での過ごしやすさに貢献できるように関係機関との連携に積極的に取り組んでいきます。
3	保護者様との情報共有、連絡調整が密にとれている	送迎時のフィードバック内容について、事前に報告内容をまとめています。また、日頃から保護者様への報告や連絡、相談、確認の徹底を心がけることで、連絡しやすい関係作りを心がけています。	連絡ツールの導入を検討し、連絡がとりやすい体制を整えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等、保護者様同士の交流の場や保護者様の研修機会を設けることができていない	サービス提供時間中に保護者様向けのイベントを開催するための人員を教室単位で確保することが難しい一方で、就労している保護者様が多く、開催日時によっては参加者が限られてしまう可能性があります。	複数教室同時にオンラインで開催するなど、開催するための人員を確保したり、どこからでも参加できるように工夫していきます。
2	非常勤職員の研修機会や非常勤職員の意見を聞き取る機会が少ない	情報共有の場が始業後すぐと終業時になっており、非常勤職員の勤務時間と重なっていないため意見交換をする時間が少なくなっていました。また、非常勤職員の多くはサービス提供時間以外の勤務時間となっているため、サービス提供時間内外に研修時間や話し合いの時間をとれるようにしていく必要があります。	研修への参加機会を増やすため、サービス提供時間外で勤務可能な場合は勤務時間の調整を行っていきます。サービス提供時間中に研修を受講する場合にはサービス提供職員の人員調整を行います。引継ぎノートや引継ぎメモを活用し、業務の流れを把握できるように工夫していきます。
3	外部に開かれた教室運営を行う必要がある	外部の方に参加をさせていただき取り組みが少なく、また、利用者様、保護者様によっては外部の方との交流を求めている場合があります。	活動報告を兼ねたお便りを作成し、保護者様だけでなく関係機関の方々にも配布することで、事業所の取り組みを周知していきます。利用者様、保護者様の個人情報に配慮した取り組みが実施できるよう内容を検討していきます。